

2012年11月吉日

報道関係各位

神奈川県横浜市西区みなとみらい4-6-2
みなとみらいグランドセントラルタワー7階
横浜冷凍株式会社 経営管理部
045-210-0011

ヨコレイ北港物流センターへ 経済産業省主催の海外視察団一行が訪問！

～ 自然冷媒導入の最新鋭冷蔵倉庫を海外の官・民キーパーソンが見学～

横浜冷凍株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 吉川俊雄 / 以下ヨコレイ）は2012年11月5日、北港物流センター（大阪市此花区）にて経済産業省主催の海外訪問団34名を受け入れ、見学会を実施いたしました。

近畿圏の物流拠点として稼働するヨコレイ北港物流センターは、2010年の開設時から前川製作所（本社：東京都江東区、代表取締役 田中嘉郎）開発の環境にやさしい「自然冷媒設備」【1】を導入。今回は「日本における産業用の冷蔵倉庫」として、同センターにて見学が行われました。視察団は、同月8日、9日に開催の「環境と新冷媒 国際シンポジウム2012」（主催：一般社団法人日本冷凍空調工業会、開催地：神戸市）の参加者で、各国の官・民のキーパーソンとされる方々を中心に構成。アジア各国・地域など、今後のフロンガス規制【2】の対象国・地域の方々に多数見学いただきました。

見学会では冒頭、弊社から同センター概要の説明、前川製作所から設備に関するプレゼンテーションを行い、その後2班にわかれてセンター内を見学。弊社では最大規模を誇る太陽光発電システム、LED照明を採用した倉庫内を巡回し、各所で解説を行いました。また荷物の特性に応じた3温度帯（5、-25、-40）の保管庫も、実際に温度を体感いただきながら保管方法や温度管理体制について見学いただきました。

参加者は、倉庫内の説明でも熱心に耳を傾け、見学後の質問では自然冷媒設備の導入コストやメンテナンスなど具体的な質問が多く寄せられました。ヨコレイではすでに冷蔵設備や断熱材等でもノンフロンを達成しておりますが、今後も環境・社会に貢献する企業として事業に取り組み、低温物流サービスでは自然冷媒技術等の最新技術を取り入れながら、環境に配慮した事業展開をしてまいります。

【 1】北港物流センターでは、自然界に存在する NH₃（アンモニア）と CO₂（二酸化炭素）を組み合わせたハイブリッド型の冷媒設備「Newton」各シリーズを導入し、冷蔵倉庫事業を展開しております。

【 2】冷蔵設備に従来使用されていた HCFC（ハイドロクロロフルオロカーボン）は、「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」に基づき、先進国では 2020 年、ほかの国は 2030 年までに全廃することが決まっており、世界的に代替が進んでいます。



本リリースに関するお問い合わせ

横浜冷凍株式会社 経営管理部 担当：初岡、長谷川 045-210-0011

設備に関するお問い合わせ

株式会社前川製作所 広報室 担当：村上、三浦 03-3642-8185